

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第5区分  
 【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公開番号】特開2000-192348(P2000-192348A)  
 【公開日】平成12年7月11日(2000.7.11)  
 【出願番号】特願平11-286316  
 【国際特許分類】

**D 0 3 D 15/04 (2006.01)**

D 0 2 G 1/18 (2006.01)

D 0 2 G 3/04 (2006.01)

【F I】

D 0 3 D 15/04 A

D 0 2 G 1/18

D 0 2 G 3/04

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月23日(2006.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】 単繊維織度が2デニール以上の高収縮性ポリエステルフィラメント系と単繊維織度が3デニール以下の低収縮性ポリエステルフィラメント系からなる、織度が140～200デニールの異収縮混織系に撚係数A ( $A = T \cdot D^{1/2}$ 、T：撚係数(回/m)、D：デニール)が8000～23000の撚りが施された撚糸であって、撚り止め熱セット後の125での乾熱収縮率が4%以上、125での熱応力が7g以上、仕上げ加工後の150での乾熱収縮率が2%以下、150での熱応力が3g以下の撚糸にて織編物が構成されたことを特徴とする異収縮混織系の撚糸織編物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は、単繊維織度が2デニール以上の高収縮性ポリエステルフィラメント系と単繊維織度が3デニール以下の低収縮性ポリエステルフィラメント系からなる、織度が140～200デニールの異収縮混織系に撚係数A ( $A = T \cdot D^{1/2}$ 、T：撚係数(回/m)、D：デニール)が8000～23000の撚りが施された撚糸であって、撚り止め熱セット後の125での乾熱収縮率が4%以上、125での熱応力が7g以上、仕上げ加工後の150での乾熱収縮率が2%以下、150での熱応力が3g以下の撚糸にて織編物が構成されたことを特徴とする異収縮混織系の撚糸織編物、にある。